|  |
| --- |
| **前立腺癌術後の臨床的再発に関わるlong non-cording RNAの解明** |

|  |
| --- |
| 1999年から2017年までに前立腺癌のために前立腺全摘除術を受けた患者さん |

**研究協力のお願い**

|  |
| --- |
| 当科では「前立腺癌術後の臨床的再発に関わるlong non-cording RNAの解明」という研究を行います。この研究は、1999年4月1日より2017年3月31日までに日本医科大学付属病院泌尿器科にて、前立腺癌のために前立腺全摘除術を受けられた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。**この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。** |

**（１）研究の概要について**

|  |
| --- |
| 研究課題名：前立腺癌術後の臨床的再発に関わるlong non-cording RNAの解明研究期間：2021年3月1日～2023年3月31日研究責任者：日本医科大学大学院医学研究科　男性生殖器泌尿器科学　近藤 幸尋 |

**（２）研究の意義、目的について**

|  |
| --- |
| 前立腺癌は欧米では最も罹患率の高い癌であり、本邦においても今後のがん統計で罹患率第一位となることが予想されている癌です。前立腺癌では、診断時の癌の状況から進行リスクを推定し、治療方針の判断材料としています。この分類により進行するリスクが高い＝ハイリスク前立腺癌と診断された患者さんは再発や転移の可能性が比較的高いことが予想されます。しかし、その中で全く問題なく経過する方、骨転移や臓器転移が生じてしまう方まで様々であり、新たな予測因子の研究が進められています。近年、RNAの一種である長鎖非コードRNA(long non-cording RNA, 以下lncRNA)が癌の発生や進行に関わっていることが明らかになってきています。今回の研究では前立腺癌の術後の再発や転移に関わるlncRNAを解明し、実際の病気の進行との関連を明らかにすることを目的とします。 |

**（３）研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）**

|  |
| --- |
| 1999年4月1日より2017年3月31日までに日本医科大学付属病院泌尿器科にて、前立腺全摘除術を受けられた患者さんの前立腺標本を使用します。実際の研究には前立腺癌組織から取り出したRNAを使用します。このRNAを分析した結果と、患者さんの病気の情報を比較することで、病気の進行に関わるlncRNAの解明を目指します。この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。試料：手術時に切除した前立腺組織情報：年齢、性別、PSA値、前立腺MRI画像、病理診断報告書、術後の治療経過など |

**（４）個人情報保護について**

|  |
| --- |
| 研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。 |

**（５）研究成果の公表について**

|  |
| --- |
| この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。 |

**（６）問い合わせ等の連絡先**

|  |
| --- |
| 日本医科大学付属病院　泌尿器科　助教　三神　晃〒113-8603　東京都文京区千駄木1-1-5電話番号：03-3822-2131（代表）　内線：6473メールアドレス：h-mikami86@nms.ac.jp |